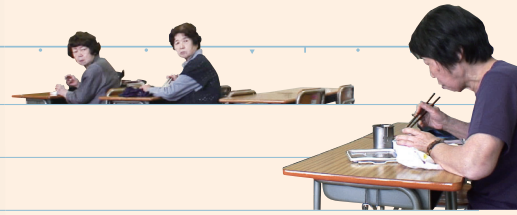




# まなぶ



## 通信制中学

## 60年の空白を越えて



撮影・監督・語り:

太田直子

プロデューサー:

田野稔

製作著作:

グループ現代

助成:

文化庁芸術文化振興費補助金

2016年/カラー/BD/92分/日本/ドキュメンタリー

[www.film-manabu.com/](http://www.film-manabu.com/)

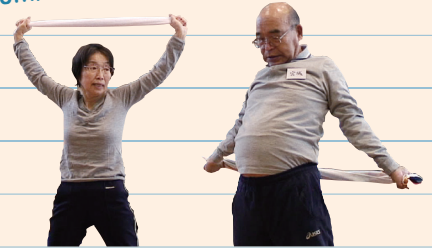
学ぶことは楽しいですよ。

知らないことだらけですもん。

知らないことだらけってことに

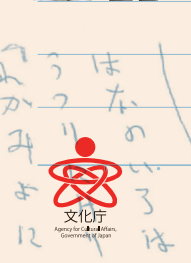
今まで気づかずにきたんですよ、


70過ぎまで。



## 戦後をひたむきに生きた人たちが、

## 人生の終盤につかんだ青春





No. \_\_\_\_\_  
Date \_\_\_\_\_

この映画は「学ぶとは、どういうことか」、  
「学校とは、どういう場であるべきか」を  
根底から問いかけています。

見城慶和

(えんぴつの会・元夜間中学教師・山田洋次監督映画「学校」主人公モデル)

#### <監督からのメッセージ>

すでに人生の経験を積まれ母となり祖母となった人たちが、何を求めてなぜ学校に通うのか。何も知らなかった私は、そんな問いを抱えながらカメラを持ち、学校に足を運びました。そして私自身が生徒の皆さんから学んだ「答え」をまとめたのが、今回の映画です。

### 監督来場。大学教員による解説、視聴後にトークショー。

#### 【趣旨】

全国にたった2校だけの通信制中学。そのうちの1校の日常を丁寧に描いたドキュメンタリーです。生涯学習社会を標榜する現代日本において、義務教育を受けることができなかつた人々がいます。映画の視聴と議論を通じて、「学ぶことの意味」について考えます。

【日時】2019年1月13日(日) 13:30~16:00(開場13時)

【会場】福岡大A棟 A203教室(福岡市城南区七隈八丁目19-1)

\* 公共交通機関をご利用ください。駐車場利用は要相談。

地下鉄「福大前」駅 改札から会場まで徒歩8分

西鉄バス「福大前」または「福大正門前」会場まで徒歩5分

#### 【内容】

- ①ミニ講座「現代日本社会の学びからの排除問題」  
講師：添田祥史(福岡大学人文学部准教授)
- ②通信制中学のドキュメンタリー映画の上映
- ③太田直子監督と夜間中学関係者によるトークショー

【主催】福岡大学人文学部 教育・臨床心理学科

【料金】無料

【備考】映画『学ぶ』公式HP <http://film-manabu.com/>

【問い合わせ先】soe@cis.fukuoka-u.ac.jp(添田)

